

観光 観
コンビニエンス
ストアと
観光協定を
東 美智子
(公明党)

問 コンビニエンスストアは車で外出した際に道をたずねたり、トイレ休憩や飲食物の購入、ATMの利用や支払いなどで気軽に利用できることから市内のおもてなし処に最適である。見処案内所の機能を持たせることで相乗効果が期待できるものと思われる。

答 すでに見処案内所に登録し看板を掲示している店舗もあるが、市内すべてのコンビニ店舗と観光協定を結び、本市の観光情報を発信する場所として見処案内所の登録を促せないか。本市を応援してもらえ環境を構築すべきと考えらるがどうか。

答 多くの方々に利用されているコンビニエンスストアは、商品を購入するためだけでなく多様である。本市にも多くのコンビニ店舗があるが、観光客への情報発信地として有益な存在である。こうした認識のもと、見処案内所として機能いただけるよう、個々の

行政 市
行田市の
人口減について
香川 宏行
(新政策研究会)

問 近年、出生率の低下などから全国的な人口減少が予測されている。本市の将来人口を推計すると10年後には8万人を下回るとされており、今後のまちづくりを進めていくうえで一定の人口を維持していくことが必要不可欠である。

答 そこで定住人口減に対し、どのような検証を行ってきたのか。また検証を踏まえ、人口を増加させるためにどのような方策を講じていくのか。

答 本市の人口減少の要因は転出が転入を上回る社会減によるところが大きい。転出先は熊谷市、鴻巣市が4割を占めており、より交通の便に恵まれた近隣市へ向かう傾向にある。

人口増に向けた方策としては、雇用機会の確保と創出、交通便利性の向上などが重要である。さらには、都市基盤整備や良好な景観創出など生活環境を整え魅力あるまちを

店舗に交渉していきたい。

公園管理
古代蓮の管理に
植物の専門家を
小林 友明
(新政策研究会)

問 「古代蓮の里」のような蓮の総合公園は、全国的に稀少で本市を含め3箇所しかない。東日本では唯一の蓮の公園として親しまれており、蓮花鑑賞に訪れる来園者を迎えるために日々の手入れと状況に応じた管理は欠かせないものである。今年の異常気象下では、特に注意深く管理されたいと思われる。公園管理をする中で、年間を通じてどのような体制で蓮の管理を行っているのか。また、常勤職員の中に、蓮を含む植物の専門家が必要であると考えらるがどうか。

答 開設以来、蓮の管理を初めとする植物や園内管理は嘱託職員及び臨時職員の6名で対応している。植物の専門家は特に配置していないが、これまでの現場の経験をもとに管理してきた。しかし、今年

創出することで定住・交流の人口増加に繋げたい。

道路
南大通線
全線開通の
意義と影響
中村 博行
(協働ネットワーク)

問 本市の課題となっていた南大通線の全線開通が来年1月に実現する。この全線開通の意義と具体的な経済効果はどう捉えているのか。

答 本線はJR行田駅を起点として、国道125号へ至る延長6・9kmの都市計画道路である。市内の道路網の骨格を成し交通ネットワークを形成する幹線道路の中で最も重

一斉に成長し開花期間が短くなった。ご指摘のとおり蓮の専門家を平成23年度から配置するべく適任者を選定したい。



全線開通する南大通線

高齢者福祉
緊急通報装置
の公平な
サービスを
三宅 盾子
(まちを住みよくなる会)

問 緊急通報装置は一人暮らし等の高齢者にとって、まさに命綱とも言える。この制度のおかげで、ある程度の安心が得られていると思われる。しかし、NTTの電話回線利用者のみが利用可能となつていないため公平なサービスとは言えない。公共サービスの原

点に立ち、どこかの電話会社に必要な路線である。国土交通省が作成した費用便益マニユアルに基づき走行時間の短縮、走行経費の減少及び交通事故の減少の3項目について検討したところ約55億円の経済効果があるものと見込んでいます。

問 全線開通に伴う沿線住民への影響は。

答 今まで迂回車両による県道の渋滞や生活道路に進入していた通過車両による交通障害の解消が図られる。一方、開通により大型車両の増加が予想されるが、全線開通後の交通動向を見据えた中で、安全対策を実施していきたい。